

サトウキビ害虫

オキナワカンシャ  
クシコメツキの防除に！



オキナワカンシャクシコメツキ成虫



オキナワカンシャクシコメツキ幼虫

交信攪乱用フェロモン剤

オキメラコン<sup>®</sup>

(オキメラノルア剤)



# 交信攪乱用フェロモン剤

# オキメラコン<sup>®</sup>

(オキメラノルア剤)

■ 有効成分 ドデシルアセート…96.5%  
その他安定剤等… 3.5%

■ 安全性 ●経口毒性 ラット LD<sub>50</sub> >2,000mg/kg  
マウス LD<sub>50</sub> >2,000mg/kg  
●魚毒性 : A類相当  
コイ LC<sub>50</sub> >0.11 mg/ℓ  
ミジンコ EC<sub>50</sub> 0.057mg/ℓ

■ 包装形態 80mリール/巻

## 特長

### 1 人畜および魚介類に対する安全性が高く、環境に悪影響を与えません

有効成分の安全性が極めて高いうえ、施用量も極少量。自然界では速やかに水と二酸化炭素に分解されます。

### 2 作物に対する薬害および残留性がありません

チューブに封入されており、通常の使用方法では薬害・残留の心配がありません。

### 3 高い特異性があります

オキナワカンシャクシコメツキを狙い撃ち。天敵などの益虫を減らすことなく自然界が本来持っている防除力を活用できます。

### 4 効果の持続期間は3~4か月

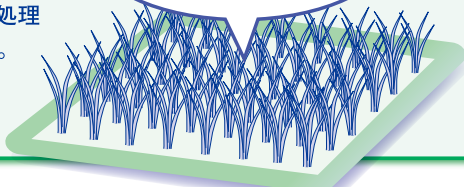
成虫の発生が例年と多少ズレても防除適期を外しません。

## 上手な使い方

### 処理本数

10a当たり61~100本(チューブ20cm換算)を確実に処理してください。但し、立地条件、土地の傾斜、風向きなどを考慮して、風上、傾斜地の上部、処理区の周辺部には、指定処理本数の中で厚く処理を行い、中央部はその分やや少なめに処理するようにしてください。できるだけ大きな面積でオキメラコンを処理することがより効果的です。また、同じ面積でも、細長い畑の場合は、フェロモンの濃度を維持することが難しくなりますので、できる限り正方形に近い面積での処理をお勧めします。

10a当たり  
61~100本  
(チューブ20cm換算)



### 処理方法(基準)

製剤を直接植物体に縛りつけ固定するか、もしくは畑に支柱を立て、そこに製剤を結びつけ、ロープ状に張って使用します。この場合、製剤のたるみによって、製剤が直接地面に接触しないように注意してください。また、スキ原のように植物体にしっかりと固定することが難しい場合や、現地が断崖絶壁で近づくのが危険と思われる場合は、安全な場所から投げて処理するか、空中から投下することでかまいません。



## 適用害虫

作物名	適用場所	使用目的	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法
オキナワカンシャクシコメツキが加害する農作物等	オキナワカンシャクシコメツキ発生地帯	交尾阻害	オキナワカンシャクシコメツキ	61~100本/10a (17g/100本製剤)	成虫発生初期から終期まで	支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す又は空中から散布

## ■使用上の注意事項

- 本剤は、オキナワカンシャクシコメツキ成虫の交尾を連続的に阻害して雌雄の交尾率を低下させ、次世代の幼虫密度を抑えることを目的としています。従って、本剤は殺虫効果がありません。また、幼虫には作用しませんので、成虫の発生前に処理することが重要です。
- 本剤の使用に当たっては10a当たり(チューブ20cm当たり)61~100本を成虫発生直前に処理してください。使用方法は、チューブを畑にほぼ均一に処理することが基本ですが、周辺部や風上には規定本数の中でやや厚めに処理してください。より広い面積で集団処理していただく、より効果的です。
- 本剤は、通常1回の使用で、3~4ヶ月程度の効果が持続するように設計されていますが、気温が高く、平均風速が高い場合には、それよりも早く効果が低下する可能性がありますので、その場合には、追加設置を行ってください。効果持続の目安は、フェロモントラップでおおよそ判断できます。トラップに連続して虫が捕獲され始めたら、フェロモン剤の追加を行ってください。
- オキナワカンシャクシコメツキは一世代約2年を要します。従って、フェロモン剤の効果は、早くとも3年目からしか現れません。フェロモン剤の使用は、少なくとも3年以上連続して使用するようにしてください。
- フェロモン交信攪乱剤は一般に、害虫密度が高い場合には、交尾阻害効果が低下する可能性があります。そのような場合は、フェロモン剤を初年度規定本数の中で多く使用するか、集団化して使用する、もしくは適宜殺虫剤などと組み合わせることを行ってください。その場合は、できる限り天敵等益虫に対して影響の少ない剤を用いるように注意してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、本剤の有効成分が揮散しますので、必ず使用前に開封し、使い切るようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所、県農業研究センターなどの関係専門機関の指導を受けることをお勧めします。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2016年8月現在の知見に基づいて作成されています。

製造・発売元

**ShinEtsu** 信越化学工業株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1  
TEL.03-3246-5280